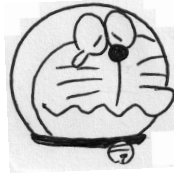


# タイのドラえもんのお菓子の話

農学研究科修士 2 回生 T.Y

## 0. これだけは言っておきたい

今年是小ネタです。



## 1. はじめに

筆者はこの会誌に 2 回ほど海外のドラえもんネタを書いてきた<sup>1</sup>。そういうわけで今年も海外のドラえもんの話を書こうと思っていたのだが、ここで気づいた。ネタがない！

そんなわけで会誌のネタを何にするか悩んでいたら、タイに行った友人が「お土産やで」といって持ってきたものがドラえもんのお菓子だった。タイではドラえもんが人気だと聞いていたので、「これは渡りに船だ！」と思い、今回はそのお菓子の話をしたいと思う。

## 2. タイのドラえもん

タイ語でドラえもんは**โดราเอมอน** と書くらしいが、そもそもタイ文字自体が複雑怪奇でよくわからない。文字はさておき、多くの東南アジアの国がそうであるように、タイでもドラえもんは有名なキャラクタとして知られている。コミックスはてんとう虫コミックス版の 45 巻のみならずドラえもんプラスやドラえもんカラーブックなど発刊されているものも多岐にわたる。これだけだと他国とほとんど変わらない。

しかし、ここ 1 年くらいでタイのドラえもんがネットを中心に話題になる出来事が 2 件あった。その一つが「タイの寺院で仏教絵に用いられたドラえもん」<sup>2</sup>であり、「タイで雨乞いの守り神として使われたドラえもん」<sup>3</sup>である。前者はタイ・スパンブリー県というバンコクの北にある場所でのワット・サンパシウ (วัดสำปะชิว) の壁画にドラえもんやのび太が描かれており、境内にはドラえもんがあるというもの。後者は、2015 年 6 月、旱魃の続くタイで「猫が鳴けば雨がふる」というおまじない

<sup>1</sup> 2012 年度は「台湾のドラえもん」、2014 年度は「ブータンのドラえもん」

<sup>2</sup> 「ドラえもん寺」など日本だったら怒られそうなタイのお寺 4 つ

GIGAZINE 2014 年 10 月 14 日

<http://gigazine.net/news/20141014-evolving-thai-buddhist-temple/>

<sup>3</sup> Thailand: Japan's Doraemon cartoon cat in rain ritual

BBC 2015 年 6 月 29 日

<http://www.bbc.com/news/blogs-news-from-elsewhere-333105771>

を行う際に、本物の猫を使うことができず、ドラえもんが用いられ、儀式の後守り神となったもの。

とまあ、キャラクタはいろいろなところで活躍しているらしい。すごいことだ。

### 3. タイのドラえもんのお菓子

本題である。今回いただいたお菓子はタイのなんてことないお店で買ったものだという。お値段は10 バーツ（およそ33円）。どちらもグミがはいっている。



<ドラえもんグミ 2 種類>



<それぞれのパッケージを拡大>

笑うドラえもんと、のび太くんとドラえもんである。こういうのが町中に普通に売っているということ。

さて、こういったお菓子が売られていることは、すなわちその国でキャラクタが非常になじみあることを表す一つの指標となる。考えてみればそうで、キャラクタをつけることで、より売れる可能性があるからだ。



＜パッケージ裏面にもドラえもんがいる＞

このお菓子、Jelfy という会社が作っている。Jelfy Doraemon というのは製品名だ  
 と思うので、それで調べてみると、「Jelfy Doraemon Apple And Grapes Flavour」なる  
 名前前で、Amazon にて売っていることがわかった<sup>4</sup>。興味のあるひとは是非買って  
 みてほしい。

ちなみに味はやわらかくて甘いグミでした。おいしかった！

#### 4. おわりに

今回はタイのお菓子について書いてみた。世界を探すと、ドラえもんが人気の国  
 であれば、こういったお菓子があると思う<sup>5</sup>ので、是非探してみると楽しいかもしれ  
 ない。今度、筆者もタイに行くことがあれば、ドラえもん寺とかお菓子とかを探し  
 てみたいと思う。

ということで、こんなお菓子があるんだよという小ネタでした。

<sup>4</sup> <http://www.amazon.com/Doraemon-Flavour-Pineapple-Gelatin-Dessert/dp/B00LXOFNHM>  
 ASIN: B00ND6Z3IC

<sup>5</sup> 筆者は台湾のコンビニにてドラえもんのパンを見つけた

# 「チンプイ」に見る女性の生き方

佛教大学 社会福祉学部 4 回生 T.S

皆様、はじめまして。4回生なのにここでは新人の私です。きっと、これを読まれている方の中には、「忍者ハットリくん」を描いた人って、「ドラえもん」を描いた人じゃないの？「チンプイ」ってなんのこっちゃ？という方もいらっしゃるでしょう。そもそもドラえもんとか興味ないのに、彼氏に読め読め言われているあなたも大丈夫です。なるべくわかりやすいように、話を進めますのでご安心ください。

## 1 エリちゃんと恋愛

まず、最初に「チンプイ」とはなんじゃ？という話です。「チンプイ」はマール星という星からやってきた宇宙人チンプイ（とワンダユウ）が、主人公エリちゃんに一目ぼれをした王子ルルロフ殿下との縁談を成功させるため、エリちゃんの日常をドタバタさせるコメディです。しかしながら、エリちゃんは、まだ小学6年生。現代の日本では、まだまだ結婚を現実的に考える年齢ではありません。よって、エリちゃんはその手この手で縁談から逃げ回ります。そして逃げる先で待っているのは、内木君というお友達。彼は優しく、何事にも冷静に対処できる頭の良さをもった男の子。しかし、エリちゃんのことを恋愛対象として見ているのか？ということには少々疑問が残ります。この、エリちゃんを愛してやまないが、会ったこともないルルロフ殿下（どうやらイケメンらしい）と、優しいけど、女の子として見てくれているのかわからない内木君の間に挟まれながらも、マイペースに毎日を楽しむのがエリちゃんの日常です。

## 2 愛する？愛される？

さて、この作品を読み解いていく上で、焦点を当てていきたいのが「女性の在り方」です。先ほどお話したこのお話のあらすじを思い出してください。エリちゃんに求婚しているのは、違う星の宇宙人とはいえ王子様。この関係が結婚に結び付くと、いわゆる玉の輿婚です。しかも、映画やドラマにありがちな政略結婚ではなく、本当に殿下はエリちゃんにぞっこんのご様子。「女は愛する恋愛をするより、愛される恋愛をした方が幸せ」なんて、本当かどうかわからないメソッドを体現しています。一方、内木君は宇宙人の殿下に比べれば、ごくごく普通の少年。しかもどうやらエリちゃんにとって「愛する恋愛」になりそうな予感（じっくり読み込むと、実はそうでもなさそうだなと、思わなくもないですが）。

畳み掛けるように、作中では、もしや未来のエリちゃんは殿下と結婚したのでは？ というような要素が度々出現します。たとえば、海外に移住したお姉さんのフリをしたエリちゃんが、幼いエリちゃんに会いに来た回があり（“海外”と言っていますが・・・）、また、エリちゃんと殿下の子どもが来たこともありました。

そこまで現実を突きつけられて、エリちゃんは次第に心を動かされていきます。しかし、最後の最後で踏みとどまるところがエリちゃんのすごいところ。内木君に、「殿下に負けないで」と頼み込んでみたりはするものの、自分の力でもがきまです。少し話が逸れますが、エリちゃんは家出をするときに、ただ外に出るのではなく、仕事も探します。もちろん小学生なので、毎回仕事は見つからないのですが、エリちゃんの目指すところは自立した女性と言えるでしょう。

### 3 エリちゃんが生きた時代

この「チンプイ」は、1985年、バブル全盛期の時代に連載が始まりました。ちなみに、この1985年は1972年に施行された「勤労婦人福祉法」が、「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等女子労働者の福祉の増進に関する法律」へと大きく改正された年でもあります。この法律は、1997年に「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律」へと改正されました。いわゆる「男女雇用機会均等法」です。

また、同年日本は、1979年に国連で採択された「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約（Convention on the Elimination of All Forms of Discrimination against Women）」を批准しています。このことから、1985年は女性の社会での地位を尊重する空気が、日本でも漂い始めた時代。エリちゃんは、当時の日本女性の最先端を体現していたのかもしれない。

### 4 現代の女性像

さて、このエリちゃんが生きた時代から、もう30年です。現代の若者たちは、どう変化してきたのでしょうか。

内閣府が2013年に発表した「平成25年度 我が国と諸外国の若者の意識に関する調査報告書」によると、日本の若者は自分の「やさしさ」「真面目さ」を誇りに思っているものの、「容姿」には自信がないそうです。これを読んでいるあなたはどうか？

世間では、婚姻率が下がった、おひとり様が増加したという話をチラホラ聞きます。最高の婚姻数を記録した1972年の約110万組に比べて、2011年は66万組と、

この40年で、婚姻率は2分の1近くになっています。最高記録を叩き出した1972年の翌年、オイルショックが起きた1973年から、婚姻率は徐々に低下していきます。そして、「チンプイ」の連載が始まった1980年代に現在と同じくらいの数値になっています。そんな統計を見ていると、「チンプイ」はバブルがはじけて、結婚をすることで必ずしも幸せになれると限らなくなった時代に生きる人たちに、「相手の経済力や、容姿や、地位を大事にするのが幸せか、それとも自分の気持ちを大事にするのが幸せか、誰かに決めてもらうのではなく、自分で決めないといけないよ」というメッセージなんじゃないかと思います。

## 参考

- ・ 柏市 インターネット男女共同参画推進センター  
<http://danjo.city.kashiwa.lg.jp/>
- ・ 旬報社 「労働六法 2005」(2005)
- ・ 内閣府 「平成 25 年度 我が国と諸外国の若者の意識に関する調査報告書」  
[http://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu/thinking/h25/pdf\\_index.html](http://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu/thinking/h25/pdf_index.html)



# 『少年時代』への『長い道』

総合人間学部3回生 N.R

## 1. はじめに

あなたは井上陽水氏の『少年時代』という歌をご存じだろうか。

井上陽水最大のヒット曲とも言われるだけあり、メロディを口ずさめる人も多いだろう。しかし、それが同名映画の主題歌だったということは知っていたらどうか？そしてそれが藤子不二雄<sup>Ⓐ</sup>先生の漫画作品だったということは？

筆者はなにも知識自慢をしたいわけではない<sup>1</sup>。なにしろ、つい最近まで筆者自身そのことを知らなかったのだから。

『忍者ハットリくん』や『怪物くん』とは違って、大人向きドキュメンタリー仕立ての『少年時代』という漫画は、一般的に見ると認知度が低いかもしれない。しかし、私は確信してやまない。この作品こそが『まんが道』と並んで、<sup>Ⓐ</sup>先生の実体験が生きる名作だと。そしてその素晴らしさを広めるべく、ここに紹介文らしきものを記したいと思う。

## 2. 『少年時代』と『長い道』

まず、簡単に漫画『少年時代』のあらすじを説明しておこう。

戦時中、東京から富山の田舎に疎開してきた主人公・進一は、小学校の級長を務め大人たちからの信頼も厚い少年・タケシと出会い、仲良くなる。しかし表面上は優等生のタケシは、裏ではクラスを牛耳る暴君であった。

二人きりのときは進一に優しく接するが、クラスでは冷たい態度のタケシ。そして自分を仲間外れにする同級生たちに、進一はとまどい、苦しむこととなる……。

二面性を持ち心の内の読めないタケシと、東京者への迫害に対する葛藤。そして今までの陰鬱さを払拭するような感動的なラストシーンは、読者になんとも言えない読後感を抱かせる。

漫画『少年時代』は、1978年から1979年まで『週刊少年マガジン』誌上に連載された。

実はこの『少年時代』には原作小説が存在し、それが芥川賞作家・柏原兵三（1933年～1972年）の『長い道』という作品だということはあまり知られていない。

---

<sup>1</sup> そもそもこんなことを知っていても自慢にはならないが。

柏原兵三は戦時中に富山の漁村に疎開した経験をもとに『長い道』を執筆し、当時の筆者に対する「いじめ」というべき集団での迫害を、細やかな心理描写をもって描き出している。奇しくも同じころに富山の山村に疎開していた経験のある㊤先生は、この作品を読んだとき「僕の記憶の奥にあった少年時代の感覚が生々しくよみがえってきた」と語っている<sup>2</sup>。

柏原氏と㊤先生は同世代であり、そして同じような少年時代を経験していた。そこに運命的なものを感じた㊤先生は『長い道』を漫画化することを決意したという。そして紆余曲折を経た後、ついに自身の体験も交えた「愛と憎しみのドラマ」として『少年時代』が誕生したのである。

小説と漫画では大小さまざまな違いがあり、一概にどちらがよいとはいえない。『長い道』の方はよくも悪くも登場人物が現実的で、ストーリーも比較的起伏に乏しい。一方でいじめに対してなにもできない主人公の葛藤や集団心理の表現はより緻密で、自分が主人公になったかのように読み進めることができる。

対する『少年時代』は、季節の移ろいを味わいのある風景で表現する、漫画ならではの手法を駆使するとともに、人物の心理が明確に表され（右図）、タケシもより感情的に描かれている<sup>3</sup>。

小説では素朴な感動が、漫画ではドラマチックな感動が読んだ後に押し寄せてくることだろう。



↑やり場のない思いを進一に発露するタケシ

### 3. 映画化

1987年、藤子不二雄がコンビを解消したことを契機に、㊤先生は今までできなかったことをしようと思いつく。それが『少年時代』の映画化であった。

プロデューサーとして自ら積極的に動いた㊤先生の尽力もあって、監督・篠田正浩のもと、主題歌を井上陽水——彼は以前から㊤先生と交流があった<sup>4</sup>——が歌った

<sup>2</sup> 『少年時代』第一巻（中央公論新社、2004年）後書きより。

<sup>3</sup> 『長い道』と『少年時代』では登場人物の名前が異なり、「進」＝「タケシ」、「潔」＝「進一」である。進は表立って直接的な暴力を振るわなかった（＝裏から手下を操っていた）が、タケシはたびたび人を殴っている。これも現実的か漫画的かの違いの一つだろう。

<sup>4</sup> ㊤先生は自作の歌詞を井上陽水に送って曲作りを頼んだが、最終的に『少年時代』の歌詞は㊤先生の歌詞と全く異なっていた、という笑い話がある。



映画『少年時代』は、日本アカデミー賞をはじめとする、さまざまな賞を得ることとなった。

やはり 1000 ページの漫画を表現するには 2 時間という尺では短すぎたのか、少し物足りないところもある。だが、それでも映画は小説と漫画それぞれの良さをバランスよく取り込むことに成功している<sup>5</sup>。また、富山の絶景と、読者の想像にピタリと一致する長い道のロケーションは、監督が一ヶ月もロケハンを行った成果だという。そして白眉はやはり主題歌だ。汽車で去ってゆく主人公。それを線路上から見送るタケシ。ふたりの別れが少年時代の終わりを告げる……。切ない余韻と、井上陽水の甘い声は観るものに涙を誘う。

#### 4. 終わりに

筆者はまず漫画『少年時代』を読んでいたく感動し、『長い道』を読み始め、しかるのちに映画を鑑賞した。しかし、これらの作品群を堪能するのはどの順番でも構わないだろう。また、個人的に『長い道』はとても気に入っていて、『少年時代』を読んだことのある人には必ず読んでもらいたい。さらに、柏原作品の中には『同級会』という、『長い道』の続編とも言える短編もあるので、そちらも読むことをお勧めする。

筆者一押しは『少年時代』だが、私の力不足でその素晴らしさは一割も伝えられていない。図書館にもきつと置いてあるはずなので、みなさんには一度読んで実感してほしい。

#### 参考

- ・『少年時代』第一～三巻（中央公論新社、2004 年）
- ・『@11(オール)藤子不二雄(A)～藤子不二雄(A)を読む』（小学館、2014 年）

---

<sup>5</sup> 映画では、原作にはあるが漫画では描かれることのなかった「タケシ失墜後のクラスの様子」や、「戦争中の恋愛」などもテーマの一つとなっている。